

派生語、または反意語まで一つの語から語彙力を膨らませるように問題が選ばれている。また、教科書の英文を使った中間期末予想問題も充実している。

STEP 3

1. 次の英文を読み、下の設問に答えなさい。

Jamie Oliver is not your typical cook. He is treated (a) a media star and has fans all over the world. He has made dinner (b) the Italian Prime Minister, writes best-selling cookbooks, and started his own restaurant. Even children watch his cooking program! But what's so special (c) the man [A] (call) the "naked chef"?

① It started one day in 1997. (d) that time Jamie was (work) at the famous River Café in London. He appeared on television (e) part of a documentary about the restaurant. His passion, his easygoing style, and his good looks (make) an impression. Soon he was the star of a cooking program [B] title is *The Naked Chef*. ② It was an overnight success. He was only 21 years old.

1. 下線部①の It の内容を日本語で書きなさい。

2. 下線部②の It の内容を日本語で書きなさい。

3. 空所①～④に入る前置詞をア～キから選び、記号で答えなさい。すべて小文字にしてあります。【ア about イ as ウ at エ for オ like カ of キ to】

① (a) _____ (b) _____ (c) _____ (d) _____ (e) _____

4. 空所 [A], [B] に入る適切な関係代名詞を書きなさい。

[A] _____ [B] _____

5. 本文中の (call), (work), (make) の動詞を文意に合った適切な形にしなさい。

(call) _____ (work) _____ (make) _____

さらに、教科書で取り扱った文法項目を、教科書で出てきた文章以外の文を使って応用力を身に付けさせ、最終的には大学入試問題にまで発展させる工夫に溢れている。

この『ワークブック Standard』は、CD-ROMにも取められ、ますます使いやすさを増し、教科書で習ったことを上手く発展させ、無理なく応用力をつけるのに最適である。

◆『ワークブック Advanced』

『ワークブック Advanced』は、教科書で扱ってきた内容をさらに入試に直結という視点で編集されている。

例えば、教科書で出てきた単語やイディオムの中で、特に受験でもよく出題されるものにスポットライトをあて、実際の入試で出題された語彙、語法、書き換えの問題として紹介している。

文法項目の扱いも同様に、受験に直結した問題を各項目数題用意し掲載している。各問題の解答も、受験に直結した大学入試問題集レベルの解説を添えて展開しているため、生徒の自学自習にも

適している。

また、教科書の各レッスンで扱った英文の内容にマッチした読みやすい長文問題も掲載している。これは、テーマの周辺の状況を把握することで、教科書の内容のさらなる理解がすすむという効果を狙っている。さらに、英語で書かれた文を訳すことで得ることのできた知識の広がり、英語をツールとして知識が増えることへの喜び、知的好奇心をくすぐるということも期待している。

特筆すべきは、『ワークブック Advanced』の解答・解説編では問題解法への解説が実に詳しく、単に関連した内容の問題をピックアップし載せたというレベルをはるかに超えていることである。

巷にこれだけ総合問題集、長文問題集が氾濫しているため、その差をあげにくいのは事実であるが、教科書で1年間やってきたことを、別の問題で、しかも大学入試問題で復習しながら取り組むということに大きな学習効果が期待できるように思う。また、解説が詳しいという観点からも、1年生から2年生への橋渡し教材として、または、長期休暇中の課題にするのも面白いアイデアだと思う。

◆まとめ

高校の英語科教師には、進学率の向上という課せられた大命題がある。そのために、焦って、とかく授業で教科書をないがしろにしてしまう傾向もあるように思う。だが、それはいかがなものだろうか。教科書をいい加減に進めるのではなく、普段の授業で教科書をしっかり使い、上手に発展させ、無理なく生徒の実力向上を目指すということの方が受験の王道ではないだろうか。その点を考慮して、大修館書店の高校教科書 *Genius* に準拠したこれら3点の予習ノート、ワークブックを有効に使うことを考えてみてはどうだろうか。

(たけだ はじめ・埼玉県武南高等学校教諭)